

# せん孔細菌病 (Bacterial shot hole)

*Xanthomonas campestris* pv. *pruni* (Smith) Dye

*Pseudomonas syringae* pv. *syringae* van Hall

*Erwinia nigrifluence* Wilson, Starr and Berger



果実に発生すると商品価値がなくなります



被害多発時にできる新しい枝の急性症状

## 発生生態

葉、果実、枝に発生します。病原菌は風により広がります。葉では、はじめカスリ状の斑点ができ、やがて紫色で穴のあいた病斑となります。果実ではゴマ状の斑点ができ、果実が大きくなるとそこに亀裂が入ります。枝では褐色の病斑ができます。

## 防除対策

強風が被害拡大につながるので、防風垣や防風ネット等の防風対策を行います。越冬した病原菌を減らすために、春、枝にできた病斑を切り取ります。

病気の発生が多くなると薬剤での防除は難しくなります。